

「働く女性の交通事情」アンケート結果

地方からの「^{しあわせ}幸福づくり」北海道・東北連携女性フォーラム開催資料
 (2004.2.19(火) 18:30~21:00、会場:丸の内ビルディング8F コンファレンススクエアRoom5)

表1 回答者の居住地(人)

〈都市〉	406	〈非降雪地域〉	289	〈降雪地域〉	53
東京都	171	埼玉県	47	沖縄県	5
大阪府	57	千葉県	35	北海道	12
横浜市	48	兵庫県	29	長野県	8
大阪市	31	兵庫県	29	香川県	4
川崎市	21	神奈川県	25	大分県	4
札幌市	18	愛知県	19	京都府	3
さいたま市	15	岐阜県	15	広島県	3
名古屋市	11	群馬県	11	佐賀県	3
神戸市	8	岡山県	10	鹿児島県	3
京都市	7	三重県	10	奈良県	3
福岡市	5	静岡県	9	福岡県	3
広島市	4	茨城県	8	和歌山県	3
仙台市	4	熊本県	8	宮城県	2
千葉市	3	栃木県	7	山口県	1
北九州市	3	愛媛県	6	島根県	1
		滋賀県	6	徳島県	1

全国の「働く女性の交通事情」の実態を知り、問題点を把握することを目的に、web アンケート調査を独自に実施しました。期間は2003年12月25日~2004年1月10日。

表1 回答者の年齢は20代、30代が中心で、職業は会社員、公務員、医療・福祉従事者など多岐にわたります。勤務形態は正社員が50%以上、他にはパート・アルバイト、契約社員など。今回とくに、地方からの「幸福づくり」北海道・東北連携女性フォーラムの開催の趣旨に沿い、回答者の居住区域を「都市」「非降雪地域」「降雪地域」の3つに分け集計しました。

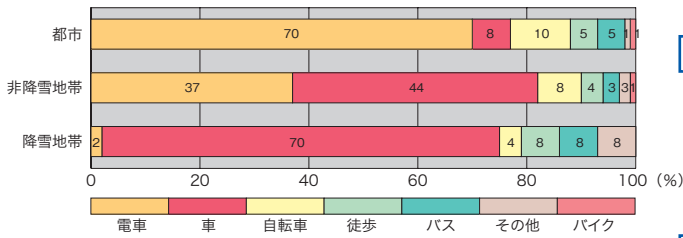


図1 通勤に利用する主な交通機関

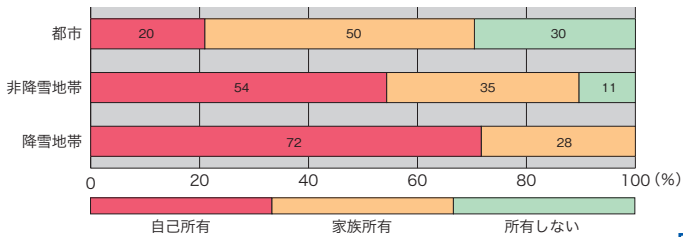


図2 自家用車の有無

表2 交通手段に関する不満(フリーアンサー)(人)

〈都市〉	〈非降雪地域〉	〈降雪地域〉			
通勤ラッシュ	71	道路渋滞	44	雪・道路凍結	11
運行の遅延	41	通勤ラッシュ	21	道路渋滞	9
道路渋滞	38	運行の遅延	19	バスの本数	6
マナー	20	バスの本数	15	公共交通機関の未整備	3
乗り継ぎ・乗換え	19	道路の未整備	14	車の維持費	3
バスの本数	17	マナー	13	駐車場がない	3
弱者対応	16	駐車場がない	9	マナー	2
電車の本数	16	公共交通機関の未整備	8	運行の遅延	1
自転車関連	15	高速道路料金	7	治安・犯罪	1
駐車場がない	13	自転車関連	7	通勤ラッシュ	1

図3 交通手段への不満キーワード(順不同)

電車・バス	車・道路
通勤ラッシュ	通勤時間帯の道路渋滞
利用者マナーの低下	高速道路の利用料金
運行遅延	駐車(輪)場
車内温度の調整	雪・道路の凍結
ベビーカー(乳幼児同伴)	踏み切り
妊婦の優先席利用	ETC
痴漢と女性専用車両	運転中の携帯
	チャイルドシート

図1 「都市」では電車利用者が7割弱、「非降雪地域」では自家用車利用が5割に達し電車利用者は3割強、「降雪地域」では7割が自家用車を利用。地域によっては車^①が働く女性達の重要な、通勤や業務のための移動手段であることがわかります。

図2 「都市」では車の自己所有は2割を切り、所有しない方が3割を占めています。家族も含めて車がなくても生活できる方が3割以上ということです。「非降雪地域」では5割以上が自己所有し、家族所有を含めると9割近くが自己所有。「降雪地域」では7割以上近くが自己所有し、ほぼ全家庭が家族所有。所有が多いほど車は生活や仕事に密着しているといえ、道路はなくてはならぬ存在であるといえます。

表2 回答者全体の87.5%が何らかの不満を回答しました。「都市」は通勤ラッシュ、「非降雪地域」は道路渋滞、「降雪地域」は雪・道路の凍結が最も多い不満となっており、それぞれの地域の問題が明確に出ています。

図3 フリーアンサーの内容から、「キーワード」をぬき出しました。働く女性の通勤・営業・生活などの「交通環境」における現状としての問題点が浮き彫りになっています。

地域のニーズに合った道路の重要性(まとめ)

- 働く女性は、仕事・生活で関わる交通手段に、さまざまな不満や要望を持っている(全回答者の87.5%)
- フリーに記述したキーワードからは、現社会における交通事情と、女性の鋭い視線を垣間見ることができる
- 交通機関利用実態の居住地別データ比較では、「都市で働く女性」と、「地方で働く女性」の通勤・生活形態の違いが浮き彫りになった
- 全国画一ではなく、地域ごとのニーズに合った交通対策が必要であることがみえる